

施策番号	2002		
施策名	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり		
概要	歩行者と公共交通を最優先とする快適な道路空間を構築するとともに、通過交通の抑制、物流対策、駐車場施策、パークアンドライドなどの適切な自動車利用の抑制策を推進する。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関係する 主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	パークアンドライドの利用者満足度(%)	b	b	94.0	88.7	98.0	90.5%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。	b	b	125 24.4%	218 42.5%	119 23.2%	29 5.7%	22 4.3%	513
2	まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。	d	d	10 2.0%	61 12.5%	165 33.7%	136 27.8%	117 23.9%	489
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						26年度	B
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・「まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている」については、目に見える形で渋滞の減少を実感できていないため、昨年度に引き続きd評価と低い評価が続いているものの、「歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている」については、昨年度に引き続きb評価と安定した評価を得ており、総合的に見れば、c評価という一定の結果を得ている。また、両設問とも昨年度と比較して、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合は大きくなっているため、少しずつではあるが「歩行者優先のまちづくり」の効果が表れているものと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	華やぎ支援事業	351,259	327,210	かなり良い	行財政局
2	放置自動車対策	54,814	50,444	かなり良い	建設局
3	看板等路上物件適正化事業	56,218	53,232	悪い	建設局
4	京都市御池駐車場	180,389	176,970	—	建設局
5	京都市出町駐車場	54,426	51,771	—	建設局
6	市営駐車場	224,198	264,628	—	建設局
7	京都市鴨東駐車場	2,539	2,120	—	建設局
8	京都市山科駅自転車等駐車場	49,964	50,531	—	建設局
9	「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業	2,825	11,675	—	建設局
10	通行支障柱移設	85,480	90,133	—	建設局
11	交通安全施設等整備事業	343,077	526,952	—	建設局
12	四条通歩道拡幅事業	1,114,601	290,364	—	建設局
13	神宮道歩行者専用化推進プロジェクト	3,084	0	—	総合企画局
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・まちなかや観光地における自動車渋滞の解消を目指し、パークアンドライドの更なる拡充、定着化をはじめ、自動車利用の抑制策を推進するなど、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて、都市計画をはじめ、環境、福祉、教育、景観、産業などの幅広い分野の政策と融合した取組を進める。

施策名	2002	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり				
指標名	パークアンドライドの利用者満足度(%)					
担当課	歩くまち京都推進室		連絡先	2 2 2－3 4 8 3		
1 指標の説明						
パークアンドライドの利用者アンケート調査における「満足している」及び「どちらかといえば満足している」とする回答の割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
パークアンドライドの利用者の満足度を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	94.0	88.7	5.3ポイント減	98.0	過去最高値（平成23年度）	90.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
単年度目標値の達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満			6 基準説明			
			パークアンドライド利用者アンケート調査において、「満足している」及び「どちらかといえば満足している」と回答した割合について、目標値の達成度が100%以上の場合をaとし、以下20%刻みで設定した。			
7 評価結果						
26		27		28		
b		b		b		